

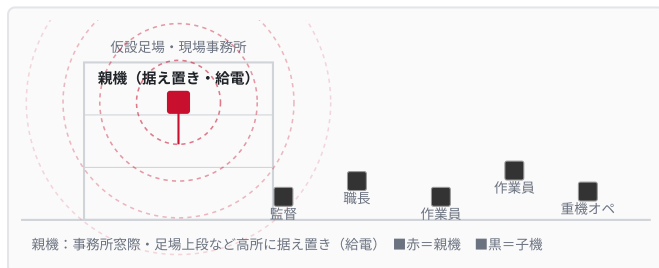
建設・工事現場

騒音と粉塵、広い敷地。親機は「現場を見渡せる高所」に据え置き、作業員はヘルメット装着マイクで。



親機の設置場所

1. 現場事務所・詰所の窓際や外壁、仮設足場の上段など、作業エリア全体を見渡せる高所（1～2m以上）に親機を据え置き、USB給電で運用します。
2. 分電盤・溶接機・大電流ケーブルの近くは避けます。地上と地下（坑内）をつなぐ場合は、親機を坑口付近の見通しの良い位置に置くと安定します。
3. 複数工区がある現場は、工区ごとに親機を分けて設置（同一エリア最大6グループ）。親機同士は離して置きます。



構成例

親機（据え置き）	1台	現場事務所・詰所に設置。通話には使わず固定運用
子機	4～8台	現場監督・職長・各作業員（1グループ最大8人）
推奨マイク	SSH-1123	ヘルメット装着マイク＋防滴イヤスピーカー SSE-1040
高騒音エリア	SSI-1028	はつり・重機近傍はスロートマイク

運用のコツ

- ヘルメット装着マイク SSH-1123 は～90dB、スロートマイク SSI-1028 は95～100dB以上の騒音に対応。エリアの騒音レベルでマイクを選びます。
- IPX5防水・MIL-STD-810H準拠。雨天・粉塵環境でもそのまま使えますが、マイク風防は汚れたら交換してください。
- 1日8時間を超える運用や子機5台以上では、親機は必ず給電しながら使用します。

推奨マイク・ヘッドセット

SSH-1123
ヘルメット装着マイク
対応騒音 ～90dB
接話型ノイズキャンセル。ヘルメットに装着。防滴イヤスピーカー SSE-1040と組み合わせ可。

SSI-1028
スロートマイク
対応騒音 95～100dB以上
喉の振動を拾う咽喉マイク。ラインナップ中で最も高騒音向け。

SSP-1130
タイピンマイク
対応騒音 ～80dB
胸元に装着するコンパクトなタイピン型。PTTボタン付き。

※ 設置方法は一般的な目安です。実際の通信距離・安定性は建物の構造や周囲の電波環境により変わります。価格・納期はお問い合わせください。